

第16回通常総会のご報告

紫陽花の花が彩りを添える季節となりました。会員の皆様をはじめ、びのきおをご支援いただいている皆様に於かれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、先日、標記の通常総会を開催しましたので、その結果をご報告させていただきます。

記

1、総会開催の期日と会場

期日：令和5年6月24日（土） 11時より

会場：びのきお 法人事務所内

2、議題

- 1) 第1号議案：令和4年度事業報告
事業計画に沿って計画通り遂行されたと説明され承認された。
- 2) 第2号議案：令和4年度会計報告・監査報告
概ね当初予算通り執行された旨の報告がなされ、北原監事より監査の結果、予算は適切に執行されていた旨の報告がなされ（理事長代読）、会計報告は承認された。
- 3) 第3号議案：令和5年度事業計画
事業計画に沿って遂行されることで承認された。
- 4) 第4号議案：令和5年度予算
提案された予算書について質問などもなく承認された。
- 5) 第5号議案：運営規定の変更について
原案通り、満場一致で承認された

以上、報告申し上げます。

※貸借対照表をびのきおのホームページに掲載しますのでご参照ください。

以上

第16回目の通常総会を無事終えることが出来ました。改めてびのきおの役割を認識すると共に我々に与えられた使命を果たせるよう努めたい所存です。

近年、コロナウイルス感染症によって、様々な行動制限の中で利用者様も忍耐の3年となり、御家族にとっても先の見えない不安から、これまで経験した事のないような疲労感に包まれたのではないかと思います。

一方でこの数年の中で衛生面の徹底など、これまで以上に注意し全職員で徹底していくという意識が芽生えてきた事は、コロナウイルス感染症から得た学びでもあり、どのような状況下でも利用者さんに喜んでいただけるような活動を工夫しなければならないという気付きにも繋がってきたのではないかと思います。

びのきおの課題として、人材確保、人材育成など山積しております。法人設立から16年が経過する中で多くの方々の尽力があり、ここまで事業を継続することが出来ていますが、人材不足から一人一人の負担が重くなり、疲弊する職員が多い事は法人としての大きな課題ではないかと思っております。

設立当初より掲げている「障害が重くても地域生活を実現する」という目標に対して、その場しのぎの活動になってしまっている現状がありますが、それも全て人材が育ちにくい環境が大きく上げられると感じております。

障害が重い利用者さんを受け入れている事が問題ではなく、それを支える人材が、「良い職場環境である」と認識できない環境に問題がある事を考えると、今一度、初心に戻り「親の手技から他人の手技へ委ねられる信頼できる職員集団」を目指していく必要があると感じております。

今年度は職員研修にも力を入れてきました。管理者研修の開催や権利擁護研修、さらに北原先生による研修などを行う事で、共通認識を持ち、私達に与えられた役割を再認識するきっかけともなったのではないかと思います。また、目配り、気配り、心配りについて、全事業所のスタッフで共有していく事や、この言葉を常に職員会時に伝えていく事で、利用者さんに対してだけでなく、保護者の方や職員同士、さらには関係者の皆様に対して、当たり前のように配慮できる職員が増える事を強く望んできました。引き続き伝え続けて行ければと思っています。

最後になりましたが、これまで多くの方々が当法人を支え、そして温かく見守って下さっています。その想いを大切に、次年度も目標に向かって進めて行ければと思います。これからもご指導、ご鞭撻宜しくお願い致します。